

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 70歳代)あります。小児と高齢者に発症しやすく, ワクチンによる予防が重要となります。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌感染症の報告が1例(男性, 60歳代)あります。平成26年9月19日から五類感染症(全数把握感染症)に追加されており, 昨年の報告数は9例です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は26.91(1,830例)となり, 感染症法に基づく調査が開始された平成11年以降の同時期と比較して, 最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	26.91	1,830
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.10	250
	② RSウイルス感染症	0.78	32
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	31
	④ 水痘	0.71	29
	⑤ 手足口病	0.51	21
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

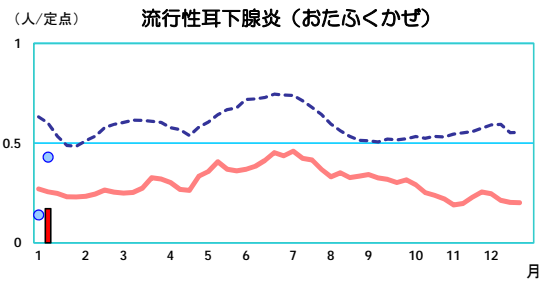
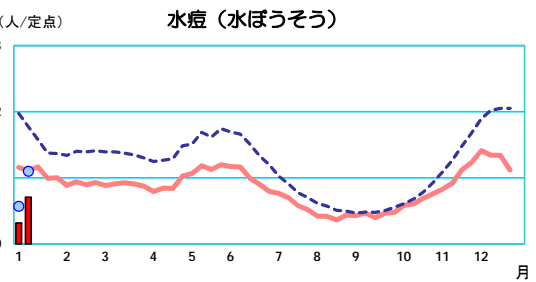
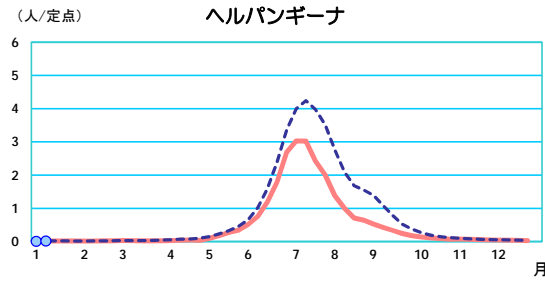
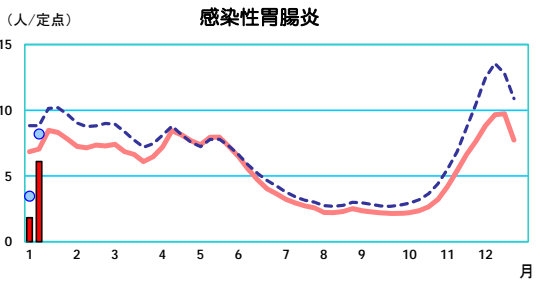
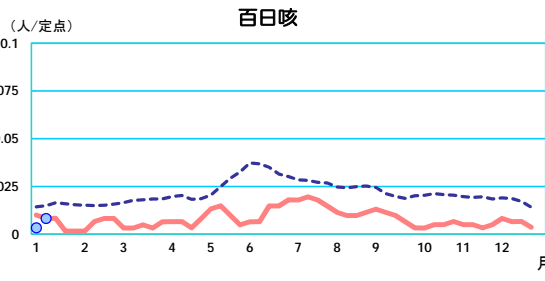
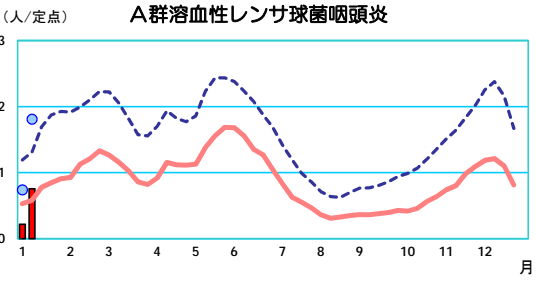
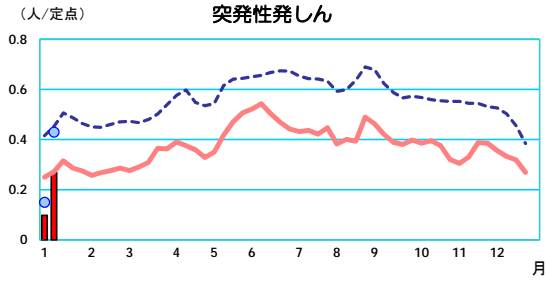
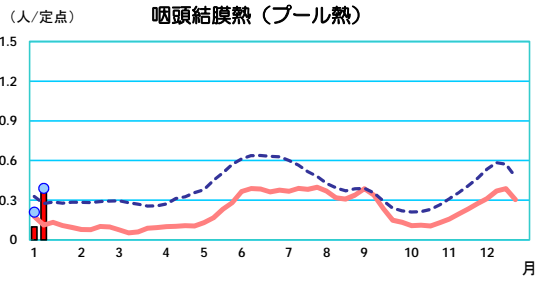
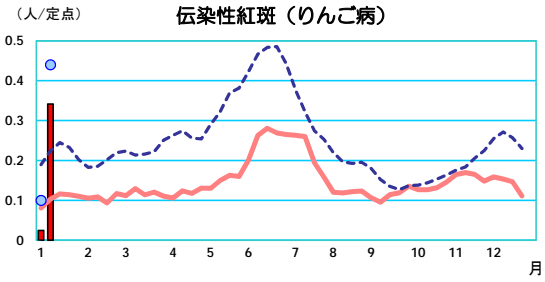
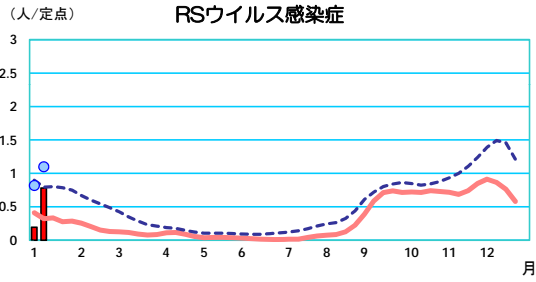
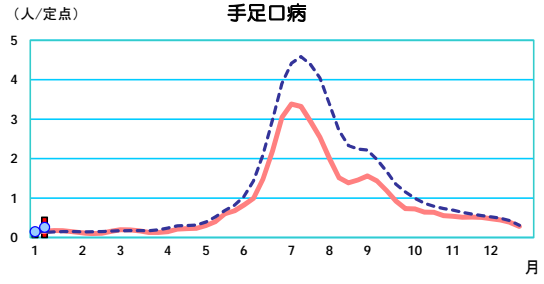
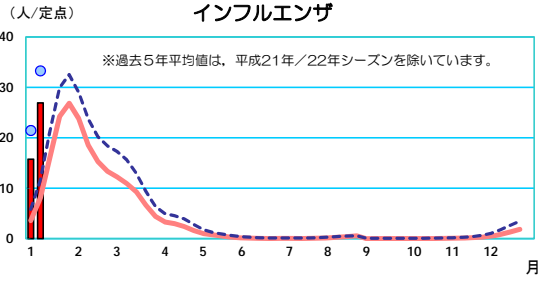
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年1月15日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第2週(1月5日～1月11日)トピックス: <インフルエンザ>

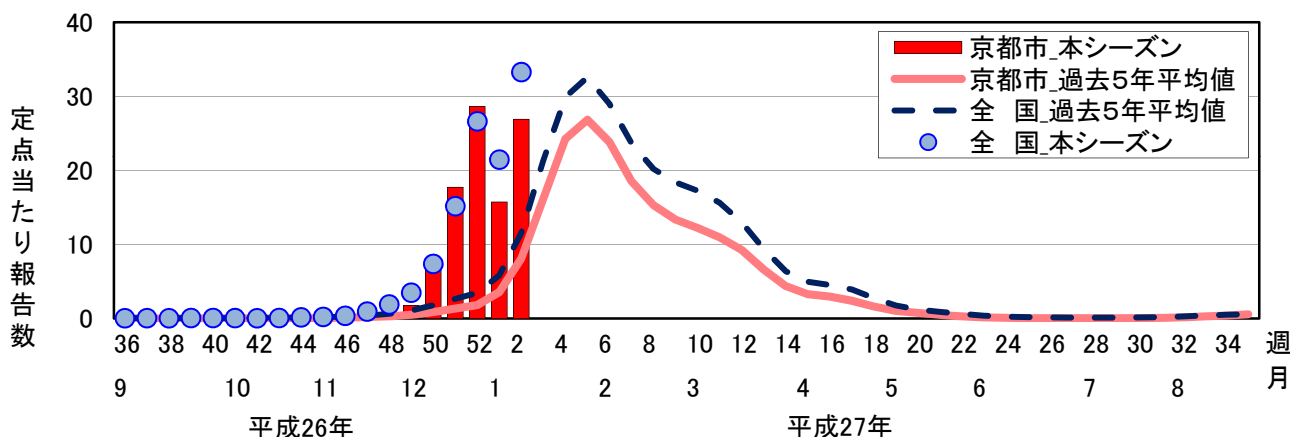
インフルエンザの定点当たり報告数は26.91(1,830例)となり、感染症法に基づく調査が開始された平成11年以降の同時期と比較して、最も多い報告数となっています。

全国的にも患者報告数が急増しており、全ての都道府県で注意報レベルの「10」を上回り、27県で警報レベルの「30」を上回っています。12月中は首都圏や東北、近畿の各地域で流行が目立っていましたが、1月に入ると九州、中国、四国など西日本の地域で流行が大きくなっています。

京都市の年齢別患者報告割合の推移をみると、例年より早く流行期に入った12月当初は15歳未満が過半数を占めていましたが、その後、流行の主体を占めていた15歳未満の割合が徐々に減少し、15歳以上の幅広い年齢層の割合が増加しました。このことから、流行が小児から成人へと広がっていることがうかがえます。

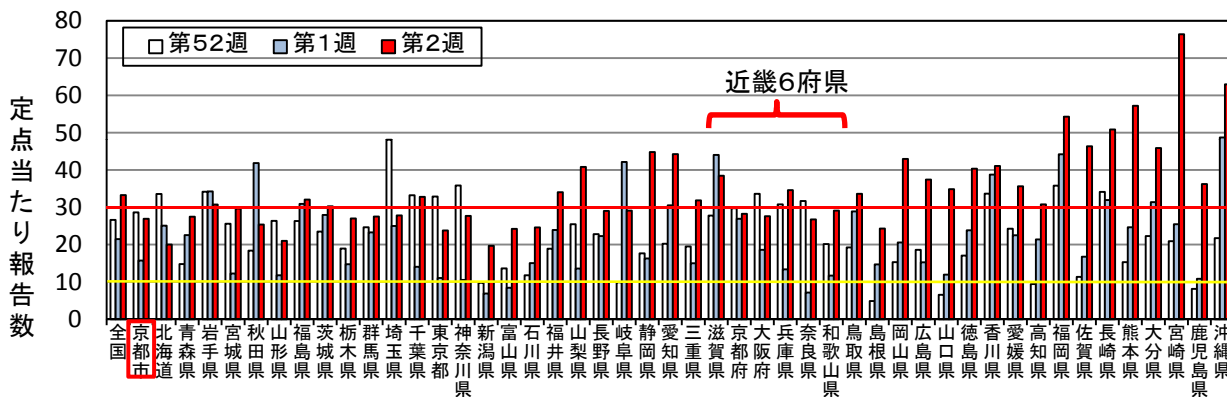
インフルエンザは、例年、1月末～2月上旬に流行のピークを迎えます。学校・職場等での始業に伴い人と人との接触機会が増えるため、今後も患者がさらに増加する可能性があります。インフルエンザの予防、拡大防止のために、こまめな手洗いとマスク着用による咳エチケット等、「かからない」、「うつさない」を心掛けてください。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移

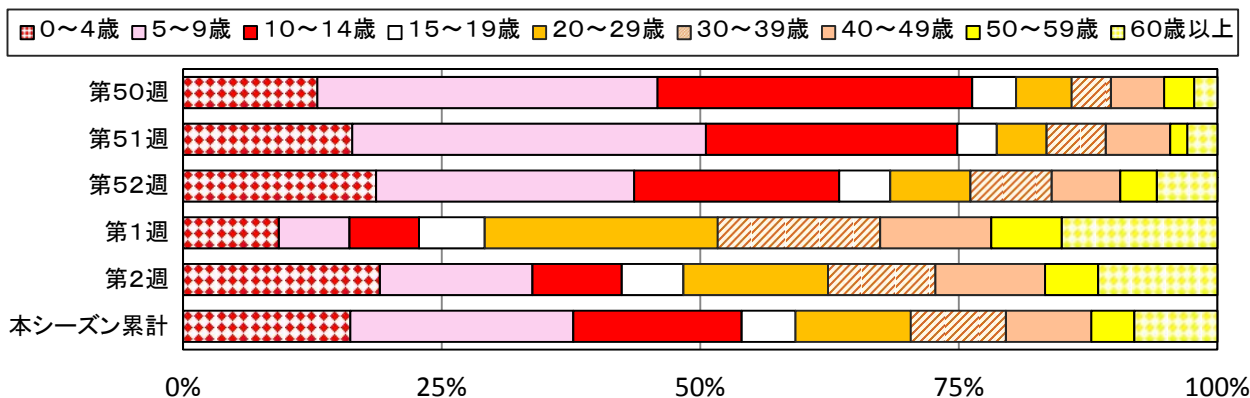


※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

都道府県別定点当たり報告数の推移



京都市の年齢別患者報告割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第2週

疾病,行政区別報告数

平成27年1月5日～平成27年1月11日

データ入手日:平成27年1月15日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	143	1	-	2	8	-	-	1	-	-	-	1	-	-						
上京	156	1	1	-	8	1	1	-	2	-	-	-	-	-						
左京	169	10	2	3	26	1	2	-	-	-	-	-	-	-						
中京	143	3	-	1	13	4	1	2	2	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	
東山	113	5	-	3	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	126	-	-	-	9	1	2	-	1	-	-	-	-	1						
下京	83	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	232	-	1	8	15	8	2	-	-	-	3	-	-	-						
右京	179	3	1	4	44	5	3	5	3	-	-	4	-	3						
伏見	293	8	9	8	60	6	10	5	3	-	-	-	-	2						
西京	193	-	-	2	40	3	-	1	-	-	-	1	-	-						
京都市計	1,830	32	15	31	250	29	21	14	11	-	4	7	-	6	-	-	1	-	-	

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	20.43	0.25	-	0.50	2.00	-	-	0.25	-	-	-	0.25	-	-						
上京	31.20	0.33	0.33	-	2.67	0.33	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-						
左京	24.14	2.50	0.50	0.75	6.50	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
中京	28.60	1.00	-	0.33	4.33	1.33	0.33	0.67	0.67	-	0.33	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	
東山	37.67	2.50	-	1.50	13.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	18.00	-	-	-	2.25	0.25	0.50	-	0.25	-	-	-	-	1.00						
下京	27.67	0.50	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	46.40	-	0.33	2.67	5.00	2.67	0.67	-	-	-	1.00	-	-	-						
右京	22.38	0.60	0.20	0.80	8.80	1.00	0.60	1.00	0.60	-	-	0.80	-	3.00						
伏見	26.64	1.14	1.29	1.14	8.57	0.86	1.43	0.71	0.43	-	-	-	-	1.00						
西京	27.57	-	-	0.50	10.00	0.75	-	0.25	-	-	-	0.25	-	-						
京都市計	26.91	0.78	0.37	0.76	6.10	0.71	0.51	0.34	0.27	-	0.10	0.17	-	0.60	-	-	1.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年1月5日～平成27年1月11日

データ入手日:平成27年1月15日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,830	8	26	99	80	69	66	74	57	53	35	51	158	109	256	190	194	94	86	69	56	
RSウイルス感染症	年齢3	32	9	10	10	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		15	-	-	3	2	2	-	-	2	1	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		31	-	-	2	1	2	5	4	4	5	3	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		250	4	24	35	30	15	16	14	9	9	8	6	22	10	48	-	-	-	-	-	-	
水痘		29	1	5	6	4	4	4	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		21	-	1	7	5	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		14	-	-	-	-	1	-	6	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		11	-	6	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		4	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		7	-	-	1	-	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	6	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	26.91	0.12	0.38	1.46	1.18	1.01	0.97	1.09	0.84	0.78	0.51	0.75	2.32	1.60	3.76	2.79	2.85	1.38	1.26	1.01	0.82	
RSウイルス感染症	年齢3	0.78	0.22	0.24	0.24	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.37	-	-	0.07	0.05	0.05	-	-	0.05	0.02	0.02	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.76	-	-	0.05	0.02	0.05	0.12	0.10	0.10	0.12	0.07	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		6.10	0.10	0.59	0.85	0.73	0.37	0.39	0.34	0.22	0.22	0.20	0.15	0.54	0.24	1.17	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.71	0.02	0.12	0.15	0.10	0.10	0.10	0.05	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.27	-	0.15	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.10	-	-	0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	0.60	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.20	-	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		年齢4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年1月15日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	120	447	1,205	1,947	1,070	1,830
RSウイルス感染症	64	68	45	48	8	32
咽頭結膜熱	14	13	10	19	4	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	59	53	39	9	31
感染性胃腸炎	402	378	374	345	75	250
水痘	39	60	38	33	13	29
手足口病	25	15	23	26	6	21
伝染性紅斑	6	2	4	7	1	14
突発性発しん	15	12	7	13	4	11
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	3	-	-	1	4
流行性耳下腺炎	11	11	6	8	-	7
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	2	4	2	-	6
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	751	1,070	1,769	2,487	1,191	2,251

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1.76	6.57	17.72	28.63	15.74	26.91
RSウイルス感染症	1.56	1.66	1.10	1.17	0.20	0.78
咽頭結膜熱	0.34	0.32	0.24	0.46	0.10	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.32	1.44	1.29	0.95	0.22	0.76
感染性胃腸炎	9.80	9.22	9.12	8.41	1.83	6.10
水痘	0.95	1.46	0.93	0.80	0.32	0.71
手足口病	0.61	0.37	0.56	0.63	0.15	0.51
伝染性紅斑	0.15	0.05	0.10	0.17	0.02	0.34
突発性発しん	0.37	0.29	0.17	0.32	0.10	0.27
流行性耳下腺炎	0.27	0.27	0.15	0.20	-	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.20	0.40	0.20	-	0.60
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	17.23	21.92	31.78	41.95	18.69	38.61

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。